令和８年度第１回　石川県入札監視委員会　議事要旨

意見・質問	回答
＜一般競争入札案件＞ **① 令和７年度　広域営農団地農道整備事業能登外浦４期地区　千代工区　Ａ２橋台及び道路工事**	
・入札参加資格要件を県内にした上で、十分に業者数が確保されているとして、実際に22者が参加可能業者となっているが、現実的に参加できる業者は、かなり少ないようである。営業所の所在地の範囲を広げるなどしないのか。	・各業者が入札に参加できる状況かは、把握できないが、県内に受注可能な業者がいると見込んで、今回発注した。
・今回は１者が応札して成立したが、実際に入札参加がないなどがあった場合は、参加業者の範囲を広げたりはしないのか。	・場合によっては範囲を広げることも行っている。また、設計内容を見直すことや、業者が参加しやすいように日程なども考慮し、柔軟に対応している。
・震災で工事が増えて、技術者不足と言われているが、実際に不調はあるのか。	・不調はあるものの、工事に配置できる技術者を確保すべく、資格などの要件緩和をしている。入札参加資格についても、工事の金額に応じて県内に営業所を有する県外の企業も参加できるようにするなど様々な工夫をしている。
② ６災２４５８号・２４５９号　主要地方道珠洲穴水線　道路災害復旧工事（概略発注対象工事）	
・入札参加者を確保する観点から工事を分割せず、複数箇所をまとめて発注するというような基準はあるのか。	・基準というよりは、技術者不足が深刻な状況にある中で、工事を細分化して発注件数を増やすと、将来的に技術者の確保が困難となり、不調につながるおそれがあるた

意見・質問	回答
	め、できるだけ工事をまとめて発注し、業者が受注しやすい環境となるよう配慮している。
・奥能登地域での技術者の人数を把握しているのか。	・技術者の人数は、把握していない。 災害復旧工事においては近接工事での兼任を認めるなど、技術者不足を補う運用を行っている。なお、入札に参加したくても配置できる技術者が確保できず、不調となるケースもあることから、技術者は不足傾向にあると認識している。
・入札参加時に技術者の資格や配置状況をどのように確認しているのか。	・入札参加時に、発注者が求める技術者の資格（施工管理技士等）や雇用要件について、業者から提出された資料により確認している。なお、参加資格として求める技術者の資格は、工事金額等に応じて設定している。
③ 金沢城公園整備（二の丸御殿・玄関式台等）工事（躯体その１）	
・本工事と関連工事の２件に分けて発注しているのはなぜか。	・２件に分けた主な理由は、受注機会を確保するため。 工事内容や工期は類似しているが、特殊性のある工事であることから、できるだけ多くの業者に携わってもらえるよう発注を分けている。

令和８年度第１回　石川県入札監視委員会　議事要旨

意見・質問	回答
・入札参加が可能な業者に対し、個別の通知等は行っているのか。	・入札公告において入札参加資格要件を県ホームページ等で公表し、広く周知している。また、WTO 対象工事であることから、地域要件等による参加者の限定は行わず、公告や発注見通しの公表を通じて、工事に関する情報提供を行っている。
・WTO 対象工事では全国の業者が参加可能となるが、実際の受注者は県内業者が中心となるのか。	・WTO 対象工事については地域要件を設定しておらず、全国の業者が参加可能である。近年の同種工事では県内業者で構成された JV が受注している事例が多いが、過去には県外業者が参画した事例もある。
＜指名競争入札案件＞ **④ 令和７年度　（令和６年発生）農地及び農業用施設災害復旧事業　内灘北部地区農業用施設復旧工事**	
・入札結果について、１者以外はすべて予定価格での入札である。これは、あまり人気のない工事ではないのか。	・各業者の状況などによると思われる。
・この案件は、落札率が高いように思う。これは、参加業者にとって経費がかかると判断して高く入札したなどの背景もあるのか。	・そのようにも考えられる。その他、不足している技術者確保の観点など、事情も業者によって様々であると考えている。
・業者からみて、もう少し予定価格を上げてもらわないと入札しにくいなどは考えられないか。	・例えば、資材不足により遠方から資材を調達したなどの経費は変更契約で対応するなどしている。

意見・質問	回答
・工事の施工箇所について、通常は比較的近接した場所で工事をすると思うが、この案件は、かなり離れた箇所をまとめて発注している。この理由は何か。	・近接して発注した箇所は、以前に災害査定を受けたところであり、今回の箇所については、その後、改めて被災箇所とされたものである。これは各農家の水稲作付けも間に合うように調整し工事施工しているものである。
⑤ 金沢競馬場スタンド棟ボックス席改修工事	
・辞退した業者の理由は何か。	・金額が合わない、技術者不足と聞いている。
・直近工事の辞退というのは、直近で金沢競馬場が発注した工事を辞退したということか。	・そのとおり。
・競走馬への影響を避けるために、工事においてどのような配慮が必要となるのか。	・競走馬は音や周囲の環境変化に敏感であるため、工事の実施に当たっては騒音や振動等により競走馬に影響を与えないよう細心の配慮が必要である。
⑥ ６災２７１号　室　急傾斜地崩壊防止施設災害復旧工事（１工区）	
・工事を１工区、２工区に分けているのはな	・災害復旧工事であり、降雪期までの完成

意見・質問	回答
ぜか。	を目指して早期の施工を図るため、２つの工区に分けている。
・災害等応急対策協力者名簿とはどのようなものか。	・災害等応急対策協力者名簿は、県との協定に基づき、災害時等の緊急対応に協力する事業者を登録したものである。
＜随意契約案件＞ **⑦　６災４０１号　輪島港　１０号物揚場港湾災害復旧工事（仮設工その２）**	
・災害発生時の応急復旧工事における業者選定は、どのように行ったのか。	・県と協定を締結している団体に対して工事対応を要請し、団体から適任の業者の推薦を受けている。その後、推薦された業者と随意契約を締結した。
・今後、仮桟橋ではなく本設の桟橋を整備する予定はあるか。	・現在設置している仮桟橋は、なりわい再開を優先するための応急的な施設である。本復旧としては、物揚場の整備等を行う計画であり、現在詳細設計を進めている。
・関連工事ごとに契約金額が異なるのはなぜか。	・仮設設備等の設置、組立て、運搬が必要となる初回施工時は費用が大きくなる一方、その後の工事ではリース料や撤去費が主な費用となるため、工事ごとに金額が異なる。

令和８年度第１回　石川県入札監視委員会　議事要旨

意見・質問	回答
・本復旧工事はいつ頃実施する予定か。	・本復旧工事は来年度以降を予定しているが、関連施設の移設や船舶の係留場所の調整などが必要であることから、漁業関係者との調整を行いながら施工時期を決定していく。
・関連工事の２件目について、着工日と開札日の時期に差が生じているのはなぜか。	・仮桟橋のリース期間の調整に伴い契約を行ったものであり、災害対応として応急復旧を優先して施工を進めた後、見積徴収や契約手続を行った経緯によるものである。